

最上

大豆だより

第 4 号 収 穫 編
令和 8 年 10 月 20 日
最上総合支庁 農業技術普及課
☎0233-29-1330（作物担当）

汚損粒の防止と適期刈取で品質低下を防ぎ、高品質な製品に仕上げましょう！

※お天気ニュース※

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の平均気温は高い見込みですが、曇りや雨の日は平年並みか多い見込みです。早めの準備と計画的な作業で適期に刈取ができるようにしましょう。（10/15 気象庁発表）

◎10/15 現在の状況

- 管内の大豆は黄化、落葉が始まり、早く播種した圃場ではまもなく刈取適期を迎えます。適期内に刈取できるように効率的な計画を立てましょう。また、昨年は刈取時期に雨が多く刈取に苦労しました。早めに準備を始めましょう。



10/15 里のほほえみ（6/11 播種）

◎青立ち株と雑草対策

- 青立ち株や雑草は収穫時に茎葉・種子の汁が大豆に付着し「汚損粒」の原因になります。
- 雑草が繁茂していると風通しが悪く、成熟が遅れ水分低下が妨げられます。また、刈取時にコンバインに絡まり刈取作業の効率が落ちます。
- 雑草の種子が圃場にこぼれると翌年の発生源になり、更に被害が拡大します。

青立ち株



生育の遅れ等により落葉が進まず、水分の低下が遅いため茎が青い状態の株

管内の主な雑草



イヌタデ



ヨウシュヤマゴボウ



アメリカセンダングサ

青立ち株

⇒刈取前に抜き取るか、
圃場内で刈り倒す
雑草

⇒刈取前に抜き取って
圃場外で処分する

◎刈取適期

- ・刈取適期は成熟期後の日数と大豆株の外観で判断します。
なお、成熟期とは葉が黄変して落葉し、莢や莢が品種特有の色（「里のほほえみ」は薄茶～茶色）になった時期です。
- ・成熟期は播種時期や品種、圃場条件によって異なるため、外観をよく観察して判断しましょう。**成熟期から7日後を目安に刈取適期**となります。
- ・品種によっては刈遅れると裂莢や裂皮、しわ粒増加の原因となるため、刈り遅れに注意しましょう。

刈取適期の
判断ポイント

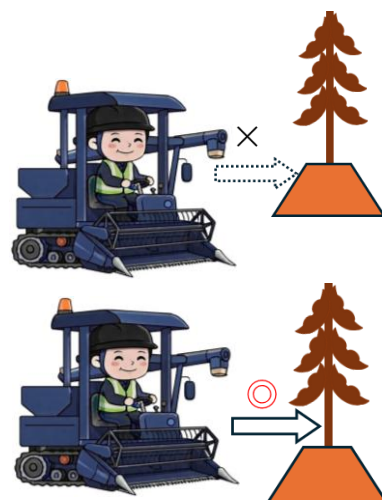
- ①茎水分が50%以下②子実水分が20%以下
③完全に落葉④莢を振るとカラカラ音がする



収穫期の大豆

◎汚損粒対策

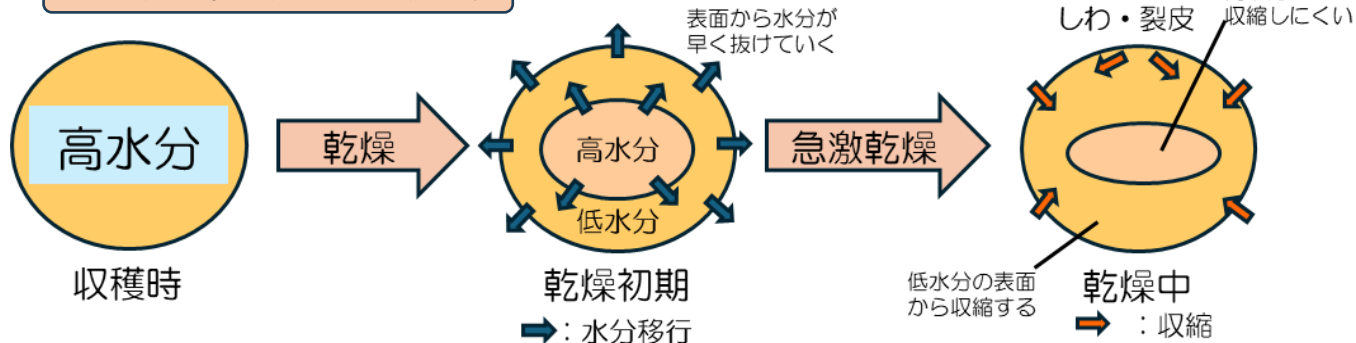
- ・「汚損粒」の原因は青立ち株と雑草の混入以外に収穫時の土砂の混入、朝露が残っている状態での刈取でも発生します。
- ・極端に刈高を低くすると刈刃が畝を巻き込み、コンバイン内に土砂が混入し、子実が汚損します。また、小石などの異物混入の原因にもなります。**土を巻き込まない高さに刈高を調整しましょう。**
- ・朝露が残っている状態での刈取はコンバイン内にゴミが付着し、子実が汚損します。**朝露の影響がない11時～16時頃に刈取を行いましょう。**



◎乾燥調製

- ・高水分の大豆は、収穫後速やかに通風し、変質を防ぎましょう。
- ・火力乾燥機で乾燥する場合、送風温度が高いと急激に乾燥が進み、**子実水分24～25%以上では「しわ粒」が、それ以下では「裂皮粒」が増加するため注意しましょう。**
- ・送風温度は**外気温度+10℃を目安とし、最高でも30℃以下**にしましょう。子実水分が高い場合や、張り込み量が少ない場合は送風温度を若干低めに調整しましょう。

「しわ粒」「裂皮粒」発生の仕組み



農作業事故に注意しましょう！

9月1日から10月31日は「秋季農作業事故防止運動強化期間」です。

STOP！農作業事故

